

説教余滴 2020年10月11日、沈思・黙想

「雄弁は銀、沈黙は金」と教えられました。
やがて、「沈黙は最も雄弁な言葉である」と学び、
講壇を降りた牧師の沈黙は貴重です、と教えられ
ました。他者の言葉を聞きなさい、受容しなさい、
ということです。
田浦教会の礼拝は、その会式直前の黙想の時が特
徴、と言えるかもしれません。
どのような意味があるのでしょうか。

ある教会では、式の中に黙想・瞑想・沈思などが
ある、と聞きました。
田浦では、開式の前に沈思の時を持つ、というこ
との意味はどこにあるのでしょうか。
ローマ教会では、式の中に沈黙の時間が設けられて
います。神秘的な沈黙の時と考えられ、大事にさ
れています。礼拝は、私たちの側からは善きもの
を神にささげる時です。
ということは、沈黙もまた神への捧げものである、
との信仰である、と言えるでしょう。

「まは、まにつうず」。これでは、判じ物の様で
意味不明。「間は、魔に通ず」、これならお判りい
ただけるのでしょうか。歌舞伎の世界の教えです。
古老から伝えられ現代に至りました。「魔」は、
人を悪事に誘い、熱中させ、善事を妨げ、悪い世
界に至らせる魑魅魍魎、と考えられてきました。
であれば、これは人に思いもやらないことを教え、
目を開かせることもするのではないのでしょうか。
日本の芸事はこの意味で間と魔を大事にしてき
た、と言えそうです。あるいは、「魔は真に通ず」、
「間は真に通ず」となるのでしょうか。踊り、話、
その他たくさんの「間」が私たちの周辺に満ちて、
間合いを図っています。

剣道の立ち合い、蹲踞の姿勢から立ち上がり、剣
尖の間合いを図り、次第に間を詰めて行きます。
息詰まる瞬間……。田浦教会は、毎主日礼拝ご
とに、神の御前で、こうした立ち合いをしている
のです。式次第にはない打鐘、沈思をもって整え
られた信仰者が、礼拝者となります。